

平成 25 年度事業報告

1 普及啓発事業

地域の特性や文化が凝縮された県産品の普及啓発及び観光による県産品の振興を図るため、ホームページ、協会だより等の情報発信事業、伝統工芸体験ツアーの開催等を実施しました。

(1) 情報発信事業(自主事業)

ホームページへの掲載、協会だよりの発行、県産品紹介パンフレットの配布などにより、県産品やその生産者、観光・伝統文化、協会事業等を県内外に広く情報発信し、県産品の知名度の向上や需要を喚起するなど県産品の振興を図りました。

ア ホームページの作成(自主事業)

3年ぶりにリニューアルし、県産品、スダチ・なると金時等の特産品、藍染め・大谷焼等の伝統工芸品、生産地だより、イベント情報及び協会事業等を広く県内外に紹介・宣伝しました。

イ 協会だより「あるでよ徳島」の発行(自主事業)

「あるでよ徳島」、「とくしま県の店(大阪)」、「名古屋物産センター」での企画展及び商品の動向、旬の情報、イベント情報、活躍する企業の紹介、協会事業の案内・活動状況等を紹介した「協会だより」を作成し、県内地方自治体、関係団体、観光物産施設等に配布しました。

4月、6月、12月の年3回、各1500部発行

ウ 県産品紹介パンフレット等の作成・配布(自主事業)

徳島県の特産品・伝統工芸品、取扱商品を印刷物により紹介宣伝しました。県産品紹介パンフレットを3年ぶりに全面改訂し、県内地方自治体、関係団体、物産観光施設、イベント開催時等に配布するとともに電子ブックとして製作した県産品紹介パンフレットにより情報発信の強化に努めました。

また、季節に合わせた県産品・特産品・観光情報の紹介宣伝及び協会事業等を紹介するリーフレットを作成し、関係団体、物産観光施設、宿泊施設等に配布しました。

県産品紹介パンフレット 5000部

季節の商品紹介リーフレット 夏季3000部(7月)、冬季5000部(11月)

「あるでよ徳島」紹介リーフレット 5000部

エ 遊山歩(ゆさんぽ)とくしま推進事業(自主事業)

徳島版ハロウィンとも言える、遊山箱を持って街を遊び歩くイベント、「遊山歩とくしま」を普及宣伝するため、「あるでよ徳島」に遊山箱を持参した者に「阿波ういろ」など県産の菓子を進呈するとともに、有名菓子店の商品などの展示販売を

行いました。

実施時期 平成 25 年 4 月 6 日～7 日

(2) 夏休み親子体験ツアー実施事業(自主事業)

夏休みに親子で藍染め、大谷焼、阿波和紙などの伝統工芸品の生産地等を訪れ、現地で伝統工芸品の技や歴史を学ぶとともに体験参加することにより、徳島の伝統工芸品や特産品への興味や知識の高揚を図ることを目的とした夏休み親子体験ツアーを実施しました。また、全作品を「あるでよ徳島」に展示し、紹介しました。

実施時期 平成 25 年 7 月 25 日、26 日

参加者 小学 4 年生とその保護者 40 組

(3) 徳島阿波おどり空港ターミナルビル徳島県物産展示コーナー運営事業(受託事業)

空港ターミナルビル内の空港搭乗待合室内にある展示コーナーにおいて、市町村特産品、伝統工芸品の展示紹介、季節に合わせた企画展示等を実施しました。また、協会作成のパンフレット、チラシ等により県産品・観光の情報を空港利用者に発信しました。

(4) IT を活用した外国人にやさしい観光・物産情報提供拠点事業(補助事業)

IT ツールの「QR コード」を用い、藍染め、大谷焼、阿波和紙などの特産品を多言語で表示する表示板及び機器を設置し、あるでよ徳島を訪れた外国人に親切な情報提供に努めました。

(5) ウェルカム OUR とくしま推進事業(受託事業)

関西・中部地方等大都市圏在住者等をターゲットとして、徳島県を代表する伝統文化、伝統工芸品である阿波おどり、人形浄瑠璃、藍染めなどを組み入れた物産観光の紹介、四国 4 県共同の物産観光展、市町村の企画展など観光物産展の開催及び広告宣伝等を行いました。

開催回数 関西地区 17 回、中部地区 5 回、中国地区 4 回

2 県産品マッチング支援事業

県内外の流通市場に適合した商品の改良、開発、販路拡大等に資するべく、全国規模の見本市、商談会への出展やより身近な情報の収集と提供の場としての県内商談会への参画を支援するとともに県内外の市場調査を実施しました。

(1) 見本市・展示会支援事業(自主事業)

都市圏を中心に開催されるスーパーマーケットトレードショー等において県産品の展示紹介、スーパーマーケット、百貨店、コンビニ、問屋など多くのバイヤーとの商談、他県の有名ブランド商品との比較検討及び他の展示商品とのマッチングによる品質向上のための商談機会の提供等を行うことにより、県産品の改善改良、新商品の開発、

販路拡大等を図りました。

○スーパーマーケットトレードショー

開催日時 平成 26 年 2 月 12 日～14 日

開催場所 東京都有明「東京ビッグサイト」

(2) 徳島県産品振興推進事業(自主事業)

「あるでよ徳島」、県外物産センターにおいて、取扱商品の販売状況の調査・分析等を行うとともに、調査結果をホームページ等によりフィードバックすること等により、販売地域の特性に対応した特産品等の商品開発、商品規格・品質・販売方法の改善改良、販路拡大等を図りました。

特に、「あるでよ徳島」においては、POS システム(売上、在庫管理を行う電子情報管理システム)による販売実績及び阿波踊り期間の販売状況等の調査分析等を実施し、概要をホームページ等で公表しました。

また、商談会や催事の情報提供や商品の取りまとめ、出展による県産品の PR を行うことにより、販路拡大を行いました。

(3) 県産品販路拡大調査研究事業(自主事業)

東京、大阪、名古屋等都市圏における特産品及び物産販売店等のマーケティングリサーチ、インターネットショップ利用者の調査分析等を行い、調査結果をホームページ、協会だより等によりフィードバックすることにより、都市圏における商品開発、販売方法の改善、販路拡大等を図りました。

3 県産品マーケティング推進事業

徳島県が県内外に設置するプラザや物産センター及びアンテナショップの管理運営を行うとともにインターネットショッピングサイトの運営事業や物産展出展等支援事業を実施し、県産品の商品開発、普及促進、販路拡大等を推進しました。

(1) 常設展示場管理運営事業(受託事業)

「あるでよ徳島」や県外物産センターにおいて、県産品の収集、紹介、展示販売及び徳島県の観光情報の収集紹介等を行い、県産品の普及促進、販路拡大等を推進しました。

ア あるでよ徳島

「あるでよ徳島」では、藍染め、じら織、大谷焼等伝統工芸品を始め、すだち、わかめ、なると金時及びその加工品など多種多様な県産品約 1800 点の展示販売、県産品の紹介、観光客への情報提供、お客様サービスの充実等に努めました。

また、「企画展示コーナー」では、「遊山歩とくしま」、「新酒まつり」、「梅の節

句」などの「企画展」や話題商品等の展示紹介、「町から村からコーナー」では県内各地の特産品の展示販売、観光情報の提供を行い、より多くのお客様に県産品を紹介するとともに、季節の楽しみを感じていただけるよう展示企画を行いました。

プラザ「むらからまちから」企画展開催 12回

プラザ「玄関入口」企画展開催 11回

イ とくしま県の店(大阪)、名古屋物産センター

地域の特徴を生かした企画展、市町村の特産品・観光の企画展、季節に合わせた企画展等を実施し、関西、中部圏において徳島県産品の紹介・宣伝、販路拡大及び観光誘客を推進しました。

(2) アンテナショップ運営管理事業(受託事業・自主事業)

地域特性に適合した県産品の商品開発、情報発信による販路拡大及び観光客の誘致促進等に資するため、東京の「ローソン虎ノ門巴町店」及び「ローソン飯田橋三丁目店」、「徳島・香川トモニ市場」、大阪難波の「よしもとご当地市場」において、県産品の展示販売、普及宣伝、観光情報の提供、各アンテナショップ関係者との展示商品の検討・協議及び事業者への情報のフィードバック等を実施しました。

(3) インターネットショッピングサイト運営事業(自主事業)

当協会が契約・管理する「あるねっと徳島」及び楽天市場内のネットショップ「あるでよ徳島」を活用し、県内外への県産品の紹介宣伝、「あるでよ徳島」など常設展示場では展示しきれない県産品の展示販売、メルマガによる新商品・話題商品の紹介宣伝を行うとともに、県産品の普及宣伝、販路拡大、事業者の育成などマーケティングの推進を図りました。

(4) 物産展出展等支援事業(自主事業)

デパート、スーパー、県内開催の全国大会等において開催される物産展に出展参加することにより、商品の開発・改良改善、販売方法の改善、販路拡大等を図るとともに観光・伝統文化の紹介・宣伝による観光客の誘致を図りました。

物産展等開催回数 県外 66回、県内 12回

4 ブランドづくり事業

徳島県を代表する特産品を醸成するとともに県産品が地域ブランドとして全国に普及することを目的として、優れた商品の認定表彰や商品開発、改良のための専門家による相談会・研修会等を実施しました。

(1) 特選阿波の逸品普及事業(自主事業)

徳島県が選定する「阿波の逸品」支援商品を普及宣伝するとともに、その中から

特に優れた県産品として、選定した「特選阿波の逸品」をホームページに掲載するとともに、リーフレットを作成して普及宣伝を行いました。

(2) 「阿波ういろ」ブランド化戦略事業(補助事業)

徳島県に古くから伝わり、歴史的・文化的背景を有する「阿波ういろ」のブランド化新商品の開発及び普及宣伝等を行いました。パッケージ及びロゴの作成のほか学校給食への「阿波ういろ」の提供を行いました。

(3) アドバイザー支援事業(補助事業)

専門的知識や経験を有する協会職員及び有識者による相談及び研修等を実施することにより、特産品の開発、県産品の品質改善、事業者の販売に関する知識・技術の向上等を図り、販路拡大及びブランドづくりを推進しました。

ア 相談事業

プラザ内に県産品の製造・販売事業者に対する相談窓口を設置し、協会職が対応しました。

相談件数 52 件

イ 研修事業

流通、販売等の専門知識を有する外部講師による研修会を開催しました。

○販売促進セミナー

実施時期 平成 25 年 12 月 3 日 13 人参加

実施時期 平成 26 年 3 月 10 日,11 日 10 人参加

5 その他

(1) 会員の移動状況

平成 25 年度の会員数は、後継者不足等による退会者が 18 会員あったものの入会勧誘に努め、新たに 24 会員入会し、25 年度末で 378 会員となりました。

	前年度末会員数	入会	退会	年度末会員数
24 年度	345	44	17	372
25 年度	372	24	18	378
差 引	27	△20	△1	6

(2) 新商品承認件数

平成 25 年度の新商品承認件数は、278 件(24 年度 298 件)